

## 令和5年度第5回奈良市プロポーザル方式採否審査会会議録

開催日時	令和5年7月26日(水)午後2時15分から		
開催場所	奈良市役所 中央棟5階 秘書広報課会議室		
出席者	委員長	鈴木副市長	
	委員	真銅副市長 中岡法令遵守監察監 吉村総務部長 山口環境部長 梅田都市整備部長 田上建設部長 竹平教育部長	
	事務局	契約課長 契約課課長補佐	
開催形態	公開(傍聴人 0人)	担当課	観光戦略課
議題又は案件	1 「(仮称)奈良2025」基本計画策定業務委託		
決定又は取り纏め事項	1 採用		

### 議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等

#### 1. 議事の概要

##### (1) 業務の目的

古都奈良は、シルクロードを通じた国際交流によって培われた豊かな文化を有しており、現在に至るまでの日本文化の醸成に大きな関わりを果たしてきた。

大阪・関西万博2025の開催により、奈良を含む関西への注目と国内外観光客の流入が期待される2025年を目途として、奈良市の持続可能な地域振興に資する特別プロジェクトを推進する。

このプロジェクトでは、奈良の魅力の源泉となった国際交流の価値に着目し、持続可能な「歴史文化・国際交流都市」のモデルを構築し、世界に発信する。

##### (2) プロポーザル方式を採用する具体的な理由

本業務は、2025年大阪・関西万博を契機に開催する奈良市の持続可能な地域振興に資する特別プロジェクトの根幹となる基本構想をもとに基本計画を策定する業務である。

本プロジェクトでは、奈良の魅力の源泉となった国際交流の価値に着目し、近年脚光を浴びつつある中央アジアに所在する姉妹都市サマルカンドとの交流を推進するとともに、持続可能な「歴史文化・国際交流都市」のモデルを構築し、世界に発信することを目的として事業を実施する。

事業実施にあたっては、奈良が歴史文化・国際交流都市として有する資産を基盤として、奈良市の将来に向けての課題を適切に認識した上でのプロジェクト推進を目指す。

このため、次の3つの方向性を柱として全体事業を進めていく。

- ①奈良の魅力の深耕と発信
- ②世界の歴史都市との交流
- ③新たな付加価値の創造と創造的人材の育成

また事業は、2024年にプロジェクトのプロセスとなる以下の事業、

- ・ Creative Exchange（人材交流事業）
- ・ Creative Challenge（新付加価値創造事業）
- ・ 奈良ドキュメント30周年シンポジウム

を実施し、その成果を基盤として活かしつつ、2025年に以下のアウトプットプロジェクトを実施する。

- ・ 奈良・サマルカンド特別交流展
- ・ 奈良サローネ
- ・ 世界・歴史文化都市サミット
- ・ 奈良の魅力・国際発信プロモーション

加えて2025年における事業開催を目的とするだけでなく、事業年以降に継承可能なプロジェクトの実現を目指す。

以上を統一的に実施する必要があることから、価格の競争による単純な請負には馴染まず、国際交流、観光誘客、地域の魅力発信に関する事業とともに、海外所蔵品による特別展等の実施に関する豊富な経験を有する事業者の知見を幅広く求める必要がある。

そのため、公募型プロポーザル方式により提案内容から事業者の能力を総合的に比較し、事業者の選定を行うべき案件であることから、当方式を採用する。

## 2. 審議

受託者選定にあたって、プロポーザル方式が適切かの審議を行った。

## 3. 結論

プロポーザル方式を採用した。